

実社会や日常生活との関わりを見いだせる課題設定の工夫

## 「私の問い」を引き出す導入

生物の学習に対する有用感を得られず、考査のためだけに用語を暗記することが目的となっている生徒がいます。そのような生徒は多くの場合、疑問を持たず受動的な学習態度になりがちです。そこで、授業や単元の導入において、生徒に学習内容に関する写真や資料を提示します。写真や資料と既習事項や生活経験等を関連付けることで生じる気付きや疑問を、生徒に「私の問い」として整理させます。その問いを授業を通して解決していくことで、主体的に学習に取り組む意欲と学習に対する有用感を高める実践です。

**ポイント！**

### 生徒の疑問を引き出す写真や資料の提示

#### 導入



写真から、気付くことや疑問に  
思うことを挙げてみましょう。

私の問い

かさぶたは  
どうやってできるの？



私の問い

どうして出血は止まるのに、  
血管の中の血は固まらないの？



終末

なるほど！  
そういうことだったのか！



展開

#### アクティブ・ラーニングの視点による授業改善のポイント

- ・提示された写真や資料と自分の生活経験等とを結びつけながら疑問を形成することを通して、思考が促され主体的に学習に取り組む姿が期待できます。
- ・自らの疑問を基に対話活動を行うことで、他者の考えにふれ、考えの広がりが期待できます。
- ・学習を通して自らの疑問を解決していくことで、有用感の高まりが期待できます。